

り。(在學當時の上等兵記) (四、一一、一二)

會員數	職業別		總會出席狀況	
	官廳	工場自營	實數	對會員數出席百分率
一三	九	四	八一・五	六一・五
七	七	五	三八・五	七一・四
六		四		
二六	九	七	四一三	
計				

海外だより

左記は元長野縣知事、現海外移住組合聯合會理事長たる梅谷光貞氏が南米、伯國、サンパウロ市より針塚校長に宛てたる書信の一節にして伯國蠶絲業に關する諸兄の參考となる可きを信じて茲に掲載しました。

(前略) 偕小生事一昨年來ブラジル拓植事業に従事し、再度當地に渡航、事業の進捗に努め居候處、諸般の狀況に徴するに、當國は蠶蠶業に取りては無二の天恵を有し將來極めて有望の地と存候に付、小生は邦人をして此ブラジルの天恵の國土を利用し、蠶絲業を以て世界の覇者たらしむべく進め度存じ、固より只今に於ても世界の覇者に有之候へ共、尙一層根據強き覇者たらしめ度希望に有之候。

就ては我移住組合所屬の移住地に移住するものに就ては蠶蠶を指導獎勵するは勿論、我組合の直營農場に於ても蠶蠶並に製絲を研究經營し、指導機關たると同時に收益機關たらしめんと存居今年より「ハストス移住地並にチエテ移住地」の二ヶ所に於て早速其經營を進むる次第に有之候處、當地に於ては其指導者の適當なるものを得難く候條、御迷惑乍ら閣下の御推選に依りて其適材を得度と存じ居候、若し貴校卒業生にして成績優秀、身体健康志尙堅確、然もブラジルの蠶絲業に貢獻す可き熱望を有する青年、有爲の士、有之候はゞ御推選を得度く、差當り十分の待遇は致兼ね候へ共、ブラジル天地其者が將來有望の地として邦人發展の新天地なるに願ひ、待遇を云々せず、進んで渡伯を望む程の熱心家を希望仕候、最近宇都宮高等農林學校卒業生を採用せし例も有之候條、詳細は東京市麹町區社會局構内海外移住組合聯合會に就き御問合せを願ひ度候。

貴校卒業生の如きは、掌大の我母國天地に踞踏せずして活動の大地、新天地をブラジルに求むるは、固より當然の事に有之、卒業等が進んで渡伯せんことは、小生の衷心より切望して止まざる所に有之候。今年チエテ移住地には一ヶ年約五千貫目の生繭を得度、設備を試むる豫定に有之候。

追々と蠶種製造より、製絲紡織の點迄をも經營するの必

妻ありと存候に付、人選上は此點をも深く御考慮被下度候（以下略）（昭和四年六月三日附）

NEWS 放送局

近頃、學校では古株の同窓が段々樂屋落ちをして姿を消し、之に代つて新しい細胞が出来て來て、忽ち高度の新陳代謝が行はれて了つた。古い所では紡績の杉木君が廣嶋へ、動物の若林君が更級へ、生物の今村君が愛知へ、化學の山崎君が岐阜へ、新しい所では養蠶の中嶋君が郷里へ引つ込み、同じく藤旗君が山梨へ、動物の井澤君が滋賀へ、そして養蠶の針塚君と紡績の北原君が軍隊へ！

つまり母校と云ふ一つの有機体内でヒストリーシスが行はれ、其結果ヒストゲネシスに依つて之に代るべき新細胞が産れ出たのである。然し此破壊作用によつて姿を消した舊細胞も、決つて其儘壊滅したわけでは無く、体外に排出されると忽ちスポーアとなり、ネアポードンの糧にありつき其所に何れも新しいコロニーを造りはじめて居るのだ。最近、此等コロニーからの消息によると元氣はみな元氣だが、矢張り他人の飯には骨があると見えてホロリとするやうな通信を寄せてくる。其骨の飯こそ「人」にする眞の榮養だと大いに激勵の方めて居るわ

けである。

講堂が出来上つた。約二十年の長い間、千名の先輩が非常な不便を忍んで道場を講堂と心得て來た式堂が今度新しく現出したわけである。

二十年の祝賀を目前に迎へつゝある今日、まことに慶賀に堪えない次第である、工費を用ふること三萬八千、洋式齋酒たるモダンぶり、近い日本には類が無いと地方新聞を喜ばして居る、收容人員ギツンリ詰め込んでザツト三千人多少懸値はあるとしても二千人は裕であらう、新装を凝らした内部の設備には、活動の映畫室さへ添えてある、位置は學校正門の眞向ひ、其の外部天頂には直徑二尺豊かな大電氣時計が仕掛けてある、之は二十周年記念事業として學校職員の寄附になつたもので、正確さは正に正確だが價格は春宵一刻と同じく價千金と云ふ代物である、朝夕寄附者の勤惰を監視する等は皮肉だが、非常に便利であることが何より有り難いことである。

○ いろいろ一つの御報告、今度正門が移轉することになつた。

あの門前を貫通して居る岩門街道は、何年か己に學校の所有になつて居るが、今度の門の移轉先といふのは此の道を踏んばつて右向きを換へつゝ前進し、官舎の横手

迄来て停どまらうと云ふ計畫である。従つて多少道の兩側にある堤もくづされるだろし、又櫻の木も移植されるであらふが、要するに門前に自動車位みの旋回出来る空地を置かうと云ふのである。之で救はれるのは養蠶部の人々で、態々養蠶部の入り口を見つゝ門前迄廻つて行くのが馬鹿々々しくて仕方が無かつたが、今度は生物の前から斜行することが出来るのだ。

創立以來學校の眼となつて二十年間、五風十雨も何かは嚴然としてあの位置を護り盡したあの門、始業のベルをきゝつゝ據てゝ飛び込んだあの門、あの門があの位置から離れると云ふ、思ひ出が無くてかなうものか！

□ 其他學校では餘り變りが無い。多少外形的に膨脹の計畫があつたが、緊縮内閣の颯風一過にヘシ飛んで元の木阿みである、但し一つだけ物になるかも知れない、それは催青室を兼ねた生理實驗室であるが、あてごとゝなんかは向ふから外れるといふ事もあるから、うつかりあてにすることも出来ない。

和田先生二ヶ年の佛蘭西留學を終り、此の正月芽出度く歸朝された。

今度は養蠶部の佐藤（春）先生が、此の五月遺傳學研究のため獨乙へ留學されることになつた。御夫妻で渡歐される等との噂もあつたが、それは根も無い虚傳で矢張り

お獨りであるらしい。……餘計な心配はせず御健康を祝してやまない次第である。

○ 本會々務の分擔は前掲の如き陣容を整へ、大いに活動すべく出發した。唯此上は會員諸氏の御鞭撻御援助に俟つばかりである。

會報の編輯も本號から新部長の手に移つた。

二十周年の記念事業も豫定の計畫通り着々と進行して居る。學校としては計費の捻出部所の決定を略々了し、各自其の持ち場持場に着いて準備を急いで居る。上田市に於ても理事者の間に委員が設けられ、市會は其費用を協賛し、商業會議所も亦來るべき豫算會議に此の費用を上程せんとして居る。

□ 唯 此不況に際して第一戦に樹つて寄附募集に健闘しつつある支部委員諸氏の勞苦を思へば、涙なきを得ない次第である。

官舎のニューモラス内密話をスツパ抜いて此の項を打ちきる。

↑ ↓ ドンな風の吹き廻しかは知らないが、兎に角官舎々員一同期する所あつて二食主義を斷行する約束が成立した、勿論禁斷の提案者と裏切りものには嚴罰の規約を添えてかくて、晝飯が廢止されたのである。

一日二日と過ぎて往つた晝食時期になると彼等は瘡腹を抱えつゝ眼前にチラツク飯の幻影を拂ひ除けることに狂奔して居た……やうに見えた。

——幾日か過ぎた或る晩、パーサンが試みにトロロを掬えた所驚く勿れ一人平均五合づつを平げ、幾度もパーサンに杓門子を擔がしたと云ふ。

——其の内に一身上の都合で外泊したいものが現はれて来た、空腹の影響が脚氣となつて現はれて来た、体量が何ミリグラム減量したものが現はれて来た、たゞ三食に復活する提言の勇者が現はれなかつただけだ。

——遂に最後の日が来た、Oさんの減耗量が承知しなかつた。復活の警鐘が彼の手によつて一打せらるゝや、一同欣然として之に共鳴し股々として稱和したと云ふ、罰則は功名の勳章に早代りし、此の殊勳者の胸に飾られ一同は明るい天地に甦つたと……但し何れも噂である。

會員住所の移動及び訂正

現職員賛助員

- 和田仙太郎 上田市鷹匠町
- 岡 徳治郎 在英研究中
- 伊藤忠雄 上田市愛宕町
- 福島和吉郎 上田下鷹匠町
- 小澤綱吉 上田市上銀治町

舊職員賛助員

- 新樂 顯理 八千代電氣商會(東京市芝區佐久間町一ノ二)
- 奥井三郎 肥後製糸株式會社(熊本縣坪井町一四五)
- 田中長三郎 台北帝國大學理農學部
- 平本常三郎 東洋紡績株式會社大會根工場(名古屋市東區上飯田町)

賛助科

- 矢澤茂登一 (蠶一) 蕪海道廳農務課(朝鮮蕪海道海州)
- 絹村 貢 (蠶一) 石川縣蠶業取締所(金澤市)
- 林 漢 龍 (選蠶一) 株式會社協濟公司(奉天十間房)
- 仙場秀次郎 (選蠶一) 東京市赤坂區青山南町五ノ八四
- 高島 秀 男 (蠶二) 千葉縣廳農務課(自宅、千葉市寒川新宿六四)
- 小島 五 郎 (蠶二) 佐波農業學校(群馬縣伊勢崎町)
- 北 澤 茂 (蠶二) 慶尚北道原蠶種製造所(朝鮮大邱府)
- 古 山 宗 八 (選蠶二) 山形縣廳農務課(山形市)
- 加藤喜一郎 (蠶三) 群馬縣利根郡糸之瀬村糸井(訂正)
- 吉川 誠 彦 (蠶三) 山梨縣農會(自宅、甲府市錦町米村旅館方)
- 福田 鏞之助 (選蠶三) 群馬縣蠶業取締所富岡支所(北甘樂郡富岡町)
- 中 根 廣 (蠶四) 死亡(昭和四年九月七日)
- 野 崎 清 (蠶四) 大日本蠶糸業同業組合中央會(東京市丸ノ内丸ビル)
- 栗 原 茂 (蠶四) 東京市下谷區入谷町七八
- 小林 輝 一 (選蠶四) 苫田郡農會(岡山縣津山市)(訂正)
- 尾見 祐 八 (蠶五) 京畿道原蠶種製造所(朝鮮京城東大門外)